

# KADOMA PHOTO NEWS

## 中塚荘でワークショップ 夏休み楽しんで

8月8日、夏休み中の子どもたちに楽しんでもらおうと、中塚荘でサマーアートフェスティバル2020が開催されました。このイベントは関西で活躍するアーティストによるワークショップを無料で体験できるというものです。

会場では入場の際の消毒や検温、飛沫防止のためのビニールシートなど徹底した感染対策がとられており、訪れた子どもたちは工作などのワークショップに集中して取り組んでいました。イベントを企画した職員の大田智史さんは「コロナで色々なイベントがなくなる中『子どもたちに楽しんでほしい』というアーティストさんの想いを応援したいと思って準備を進めました」とお話しされました。門真市在住のアーティストmeg-microさんは、個展をとりやめるなど芸術活動が難しい状況にあるものの「子どもたちと会うと元



気がです。子どもたちには、少しでも発散して、喜んでもらえたら嬉しいです」と話しながら、子どもたちが描いた海や虹の絵をたくさん褒めておられました。



ソーシャルディスタンスをテーマにしたワークショップ  
ビニール紐でひっぱりあい、お互いの動きを感じとる



## 映画製作者応援したい 門真国際映画祭開催

8月13～15日、ルミエールホールで門真国際映画祭2020が開催されました。今年は昨年を上回る44の国と地域から映画やドキュメンタリー、舞台映像、ダンス映像など1020本の作品が応募され、78作品の上映と授賞式が行われました。今回は新型コロナ対策のために、実際の会場とは別にウェブ会場が設けられ、インターネットでチケットを購入するとスマホやパソコンで作品を見ることができるようになりました。また、授賞式の様子は生配信され、会場に来ることができなかった受賞者が電話で受賞を伝えられ驚く一幕も。主催した門真フィルムコミッションの奈須崇さんは「映画がピンチな時代です。苦境に立たされているフィルムメーカーの皆さんの一助になればと思って、次々と映画祭が中止されて何度もあきらめそうになりながらも準備を積み重ねてきました」と話さ

れました。映画部門の最優秀作品賞に選ばれた「あらののはて」の長谷川朋史監督は「信じられない。この作品は初めての上映で、自分の考えが見る人に伝わるのか知りたかった。おもしろいと思ってくれる人がいて感無量です」と喜ばれていました。



ウェブ会場の作品は来年7月31日まで視聴できます

## 土器ドキ・ワクワク 発掘探検!



8月7日、普賢寺遺跡発掘現場(旧第一中学校跡地)で小学校高学年と中学生を対象に「夏休み発掘探検ツアー」を開催しました。普賢寺遺跡は京阪古川橋駅北側に広がる遺跡で、発掘調査によりさまざまな土器や埴輪が見つかっています。

今回のツアーには26人が参加し、実際の発掘現場で、発掘の様子や出土した土器や埴輪の見学が行われました。

参加した子どもたちは土器や埴輪を手に取り、「すご〜い!」と目を輝かせていました。

また、子どもたちの質問に調査員が丁寧に答え、子どもたちは調査員の言葉に熱心に耳を傾けていました。

歴史資料館学芸員の浅井達也さんは「暑い中、多くの人に参加していただき、ありがとうございました。今回の



ツアーが夏休みの良い思い出になればと思います。今後、調査が進めば大人を対象にしたツアーも開催したいです」と話されました。

## 市ホームページで発掘情報を紹介中!



市ホームページでは、普賢寺遺跡で行われている発掘調査の最新の状況を掲載しています。重機での掘削や出土したばかりの埴輪など、普段見ることができない様子を、調査員の解説つきで見ることができます。



広報かどま、ホームページへの広告掲載のお問い合わせは 大光宣伝(株) ☎0743(73)4355